

誘惑の力を
使ってみたら？
チンポがたくさん欲しいん
でしょ？

誘惑なんて必要ない。
私の身体があれば
男なんていくらでも
寄ってくるわ。
ハメたい時にいくらでも
ハメられる。
でもチンポが付いてればいい
ってもんじゃないわ。
下手糞とヤッても意味ない。
そんなの
セックスじゃないわ。

そうね。貴方みたいに
チンポは欲しいくせにマドロじや
つまらないセックスになるわね。
ほら腰が動いてる。
気持ち良いの？
自分からそんなに腰動かして
マンコを擦り付けて。
それだけでイキそうになってる。



あつ...ん...そ...
そんなことないっ...
わ...よ...

可愛いクリ...
プリップリで大きく
赤くなって...
窒息しそうになってる。
あは...可愛い...

口ではそんな事言ってるけど
クリちゃんは正直ね。

んくっ...ふ、ふん！
何言ってるの...
腰なんか動かしてない。
動くのはいつだって相手の方よ。
私はただそれを楽しむだけ。

あらそう！
ふふ...じゃあ貴方を動かして
鳴かせてみせようか。



シャノン
は沙九葉に
身体を寄せ胸を押し付ける。
二人の乳首が擦れあい、
濃厚なキスが始まる。



ふーん、マダロのくせに
結構上手じゃない。
唇も甘くてプリあプリ…

甘くみないでよ。
男達は私の唇を見ただけで
勃起してここにチンポを擦り付けたがる。
私は何もしなくても
獣みたいに襲いかかってくる
哀れな男達を眺めてる時が
一番楽しいの。

どう？
貴方も我慢できなくなっちゃった？
貴方も私の身体の魅力に
抗えないのよ！

よく言うわあ…先生。
あん…自分は動かないって？
私の股の下で動いてるのは誰の脚？

ふん。
ちよつとしたサービスよ。
嬉しいでしょ？
誇りに思いなさい。

思考が定まらない。沙九葉は、
ぼーっとした頭でシャノンの胸に
自分の胸をゆるゆると
押し付ける。シャノンの大きな胸を
優しくなぞる様に乳首を一周させ、

再び二人の乳首が触れあう。
二人の乳首からは母乳が漏れだしていた。
互いに互いの蜜壺を優しく脚で撫でながら、
舌を絡め合う。その甘い時間は二人が
絶頂するまで続いた。



あら…誰かさんが垂れ流した愛液で脚がベトベト。
ほら、私が何もしくなくてもイッチャった
私の勝ちね。

何言ってるのよ！
めっちゃくちや動いてたじゃない！

テクは私の方が上ね、
あーもちろん身体も。
私のオッパイ、
貴方より大きくてこんなにスベスベ
これを見たら堪らなくなるでしょ。
男も女も関係ない。全部私の勝ちね。

はああ！？
なに言ってるのよ！



シャノンが沙九葉の乳首に噛み付いた。

こんなデカいだけの乳が私より上？
笑わせないでよ！

当然の事を
言っただけじゃない。
ふん！

シャノンが
沙九葉の乳首に噛み付いた。
痛っ！何するのよ！

あんま調子に
乗らないでよね！
このオッパイ減茶苦茶に
してあげる！

貴方なんかにはできるかしら。
じゃあ私はこの可愛い胸を
虐めてあげる。



シャノンの怒りの声とは裏腹に、
沙九葉には噛み付かれた胸からシャノンの
興奮が伝わってきた。





ふふん！
私のオッパイ気に入った？
ずっとむしゃぶり
ついていたくなるでしょ？

貴方こそ私のオッパイに
しがみ付いたまま離れないでどうしたの？
自分じゃ敵わないって気づいた？

ふふん！
私のオッパイ気に入った？
ずっとむしゃぶり
ついていたくなるでしょ？

貴方こそ私のオッパイに
しがみ付いたまま離れないでどうしたの？
自分じゃ敵わないって気づいた？

シャノンのは沙九葉の乳房に
噛み付いたまま
大きな胸を革紐で締め上げる。

あ…んん
い…痛い♡♡

お仕置きよ。
どれだけミルクがでるか試して
あげようか？



二人は互いの乳房を舐め合い続けた。
お仕置きというシャノンの行為は
どんどん激しくなる。
胸は沙九葉の性感帯だ。
敏感で弱い。

だが沙九葉はそれを楽しんでいた。
シャノンの責めにより何度も絶頂した。
それでも沙九葉はシャノンに負けを認めない。
なのでシャノンはさらにエスカレートする。
しかしそれでは沙九葉の思い通りで……
存分にその至福の時間を楽しんだ。



ん♡…ど、どうしたの？
私のオッパイを
滅茶苦茶にするのは終わった？

その言葉を
投げかけられて、
シャノンはやっと気付いた。
沙九葉に弄ばれていた。

…思い通りに遊ばれてた？…く、
完全に舐められてる。
それなら…
男達に決めさせてやる。
誰の身体が上なのか…。

